愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 3 年 1 月 4 日 報告者：佐藤 文明

行事種別	講演会	行事番号	200003634
開催日	令和 2 年 12 月 5 日 (土) ~ 令和 2 年 12 月 18 日 (金)		
時間	開始	—	終了
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	酵素について学ぼう! ~ALP/LD_IFCC へ移行完了に向けて~		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	—		
講師	<p>講演 1. 「酵素項目の基礎知識」 名古屋第一赤十字病院 尾崎 靖将</p> <p>講演 2. 「ALP/LD_IFCC 法について」 愛知医科大学病院 森部 龍一</p> <p>講演 3. 「酵素項目における標準化について」 藤田医科大学病院 齊藤 翠</p> <p>※講演 3 は、生物試料分析科学会共催の特別講演</p>		
内容	<p>今回、ALP、LD について JSCC 標準化対応法から IFCC 法への移行が、2020 年 4 月から 1 年間かけて実施されており、2021 年 3 月末完全移行に向け、ALP/LD_IFCC を含め酵素項目の基礎に振り返り講演を実施した。講演 1 では、酵素項目の基礎知識として、酵素活性測定の意義から各血清酵素項目の概要として、臨床的意義や変動要因、アイソザイムの働きを解説いただいた。講演 2 では、ALP と LD の IFCC 法への移行について、各々の項目における試薬組成・測定原理をおさらいし、今回の移行に関して、経緯から、変更に関するポイント・注意点などの要点をまとめてわかりやすく解説いただいた。講演 3 では、酵素項目全般の標準化をテーマに、標準化の変遷や、国内における標準化の現状、問題点、および今後の動向について解説いただいた。</p> <p>今回の講演が、会員施設に於いて切り替え作業の一助となれば幸いである。</p> <p>今回 ALP/LD のように大きな変化についても、いち早く最新の情報発信に努める必要があると再認識した。</p>		
参加者	総数：118 名 (会員 113 名、県外会員 5 名)		
共催、後援など	生物試料分析科学会 共催		